

2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月10日

上場会社名 株式会社エーワン精密 上場取引所 東  
 コード番号 6156 URL <http://www.a-one-seimitsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也 (TEL) 042-363-1039  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の業績 (2019年7月1日~2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	921	△12.7	249	△24.0	254	△23.8	176	△23.5
2019年6月期第2四半期	1,055	6.6	328	13.5	334	12.2	230	△1.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年6月期第2四半期	73.45		—					
2019年6月期第2四半期	96.04		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	8,964	8,243	92.0
2019年6月期	9,006	8,227	91.4

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 8,243百万円 2019年6月期 8,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の業績予想 (2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,850	△11.2	456	△28.3	466	△28.1	314	△29.7	131.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年6月期2Q	3,000,000株	2019年6月期	3,000,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年6月期2Q	600,752株	2019年6月期	600,752株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年6月期2Q	2,399,248株	2019年6月期2Q	2,399,249株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界経済の停滞を受け弱い動きとなりました。ここ10年ほど拡大を続けてきた世界経済も昨年転換点を迎え、成長率が鈍化してきました。世界的に長期にわたる金融緩和による資金供給、景気刺激策により世界経済は拡大し、動産・不動産の資産価格上昇、株式や債券価格上昇を継続してきましたが、米中間の貿易関税引上げや新興国の経済成長率鈍化や政情不安、中東地域の不安定化など、今後の世界経済を取り巻く不確定要素が増加してきました。

世界の製造業においては、長期にわたり増加を続けてきた、スマートフォンを中心とする電子デバイスや自動車の販売が頭打ち傾向から減少に転じてきて、業況は悪化しました。生産活動が低下し製造設備、工作機械、産業用ロボットも影響を受け、その業況は悪化しました。一方で新しい通信規格の5G対応のスマートフォン・電子デバイス向けの生産設備需要が増加し、ここ1年以上止まっていた半導体製造装置に動きが出てきました。また、ハイブリッド車や電気自動車に使用されるリチウムイオン電池の増産対応設備や環境対応車向けの試作など、一部動きが出ました。

日本国内の製造業も世界分散する製造業生産体制と連動性が高く、生産活動全般は減少傾向となりました。従来の量産品加工は減産となり機械稼働率は低下しました。企業業績が悪化するに伴い、設備投資も抑制されました。

このような状況のなかコレットチャック部門では、7月は前年に比べやや低調なスタートで、その後はさらに受注が減少し、月ごとの増減を繰り返しましたが、結果として受注は弱いものとなりました。

この結果、当セグメントの当第2四半期累計期間の売上高は647,722千円（前年同期比13.6%減）、セグメント利益は321,479千円（前年同期比20.9%減）となりました。

切削工具部門では、7月は前年並みの受注でスタートしましたが、8月は大きく落ち込み、9月はやや戻しましたが、10月からは緩やかに減少しました。顧客企業の量産部品加工が減少し、設備部品など単品加工も総じて低調となりました。

この結果、当セグメントの当第2四半期累計期間の売上高は260,690千円（前年同期比11.0%減）、セグメント利益は62,632千円（前年同期比15.7%減）となりました。

自動旋盤用カム部門では、カム式自動旋盤を使用する部品加工が継続しており、当社への受注はやや増加しました。

この結果、当セグメントの当第2四半期累計期間の売上高は13,144千円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益は6,704千円（前年同期比37.1%増）となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は921,557千円（前年同期比12.7%減）、営業利益は249,398千円（前年同期比24.0%減）、経常利益は254,614千円（前年同期比23.8%減）、四半期純利益は176,214千円（前年同期比23.5%減）となりました。

セグメント別の売上は、以下のとおりであります。

(%表示は対前年同期比)

事業部門別	期別	第29期 第2四半期 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)		第30期 第2四半期 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)		第29期 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
コレットチャック部門		749	(108.6)	647	(86.4)	1,470	(103.5)
切削工具部門		293	(101.9)	260	(89.0)	587	(99.3)
自動旋盤用カム部門		12	(103.8)	13	(103.9)	26	(96.7)
合計		1,055	(106.6)	921	(87.3)	2,084	(102.2)

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,373,614千円(前事業年度末は7,409,379千円)となり35,764千円の減少となりました。これは、現金及び預金が16,961千円、仕掛品が7,806千円増加しましたが、受取手形及び売掛金が64,513千円減少したこと等によるものであります。

また当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,590,908千円(前事業年度末は1,596,671千円)となり5,762千円の減少となりました。これは、投資有価証券が10,915千円増加しましたが、建物及び構築物が12,513千円、機械装置及び運搬具が3,288千円減少したこと等によるものであります。

この結果、当第2四半期会計期間末における総資産は、8,964,523千円(前事業年度末は9,006,050千円)となりました。

### (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、235,052千円(前事業年度末は303,037千円)となり67,985千円の減少となりました。これは、その他が13,855千円増加しましたが、未払金が37,955千円、未払法人税等が33,796千円、役員賞与引当金が9,760千円減少したことによるものであります。

また、当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、485,978千円(前事業年度末は475,417千円)となり10,561千円の増加となりました。これは、役員退職慰労引当金が630千円減少しましたが、退職給付引当金が11,191千円増加したことによるものであります。

この結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は、721,030千円(前事業年度末は778,454千円)となりました。

### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、8,243,492千円(前事業年度末は8,227,595千円)となり15,896千円の増加となりました。これは、利益剰余金が8,266千円、その他有価証券評価差額金が7,630千円増加したことによるものであります。

### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度と比べ16,809千円増加し、937,866千円となりました。なお、当第2四半期累計期間末におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは、254,577千円の増加(前年同四半期は324,348千円の増加)となりました。これは法人税等の支払額が△112,878千円、未払金の増減額が△37,917千円、たな卸資産の増減額が△10,887千円、役員賞与引当金の増減額が△9,760千円ありましたが、税引前四半期純利益が254,687千円、減価償却費が85,291千円、売上債権の増減額が64,513千円、退職給付引当金の増減額が11,191千円、利息及び配当金の受取額が3,180千円あったこと等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における投資活動によるキャッシュ・フローは、70,471千円の減少(前年同四半期は427,540千円の減少)となりました。これは、有形固定資産の売却による収入が73千円ありましたが、有形固定資産の取得による支出が△69,943千円、無形固定資産の取得による支出が△450千円、定期預金の増減額が△151千円あったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における財務活動によるキャッシュ・フローは、167,295千円の減少(前年同四半期は167,883千円の減少)となりました。これは、配当金の支払額が△167,295千円あったことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、当第2四半期累計期間の状況を踏まえて、2020年1月14日に「2020年6月期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。詳細につきましては、「2020年6月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,758,282	6,775,244
受取手形及び売掛金	449,266	384,752
製品	1,778	2,981
原材料	30,454	32,332
仕掛品	169,876	177,682
その他	215	943
貸倒引当金	△494	△322
流動資産合計	7,409,379	7,373,614
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	477,231	464,718
機械装置及び運搬具(純額)	500,739	497,451
土地	328,869	328,869
その他(純額)	2,200	2,170
有形固定資産合計	1,309,040	1,293,209
無形固定資産	1,691	1,935
投資その他の資産		
投資有価証券	125,765	136,681
長期前払費用	780	557
繰延税金資産	159,373	158,504
その他	1,026	1,078
貸倒引当金	△1,006	△1,058
投資その他の資産合計	285,939	295,764
固定資産合計	1,596,671	1,590,908
資産合計	9,006,050	8,964,523
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	17,074	16,745
未払金	107,727	69,771
未払法人税等	122,308	88,512
役員賞与引当金	16,000	6,240
その他	39,926	53,781
流動負債合計	303,037	235,052
固定負債		
退職給付引当金	359,967	371,158
役員退職慰労引当金	115,450	114,820
固定負債合計	475,417	485,978
負債合計	778,454	721,030

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,500	292,500
資本剰余金	337,400	337,400
利益剰余金	8,413,222	8,421,489
自己株式	△841,335	△841,335
株主資本合計	8,201,787	8,210,053
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,808	33,438
評価・換算差額等合計	25,808	33,438
純資産合計	8,227,595	8,243,492
負債純資産合計	9,006,050	8,964,523

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
売上高	1,055,605	921,557
売上原価	574,816	534,319
売上総利益	480,788	387,237
販売費及び一般管理費	152,461	137,839
営業利益	328,327	249,398
営業外収益		
受取利息	297	328
受取配当金	2,780	2,999
売電収入	2,378	1,437
貸倒引当金戻入額	—	98
その他	486	352
営業外収益合計	5,943	5,215
経常利益	334,270	254,614
特別利益		
固定資産売却益	—	73
特別利益合計	—	73
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前四半期純利益	334,270	254,687
法人税、住民税及び事業税	112,100	80,890
法人税等調整額	△8,252	△2,417
法人税等合計	103,847	78,473
四半期純利益	230,423	176,214

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	334,270	254,687
減価償却費	85,087	85,291
長期前払費用償却額	222	222
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△73
有形固定資産除却損	—	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	339	△120
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,750	△9,760
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,121	11,191
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,080	△630
受取利息及び受取配当金	△3,078	△3,327
売上債権の増減額(△は増加)	6,363	64,513
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,511	△10,887
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,003	△328
未払金の増減額(△は減少)	△6,370	△37,917
その他	17,613	11,414
小計	437,385	364,276
利息及び配当金の受取額	2,921	3,180
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△115,958	△112,878
営業活動によるキャッシュ・フロー	324,348	254,577
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△400,096	△151
有形固定資産の売却による収入	—	73
有形固定資産の取得による支出	△27,443	△69,943
無形固定資産の取得による支出	—	△450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△427,540	△70,471
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△2	—
配当金の支払額	△167,880	△167,295
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167,883	△167,295
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△271,074	16,809
現金及び現金同等物の期首残高	924,307	921,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	653,232	937,866

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I. 前第2四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	749,910	293,050	12,644	1,055,605	—	1,055,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	749,910	293,050	12,644	1,055,605	—	1,055,605
セグメント利益	406,275	74,323	4,890	485,490	△157,162	328,327

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△4,701千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II. 当第2四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	647,722	260,690	13,144	921,557	—	921,557
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	647,722	260,690	13,144	921,557	—	921,557
セグメント利益	321,479	62,632	6,704	390,817	△141,418	249,398

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△3,579千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。